美濃加茂市　大原池（稲葉池下池）にて

生きものにぎわうため池再生事業（外来種駆除）を実施しました

農業用ため池は、農業用の水を貯めておく役割だけではなく、魚や貝、昆虫等の多くの生きものが生息する里地の一部を形成しています。しかし、近年は、耕作放棄地の増大によるため池の管理不足、外来種の侵入など様々な要因により農業用ため池の環境は崩れつつあります。

このため岐阜県では、“緑豊かな「清流の国ぎふ」づくり”における施策の１つである“豊かな森づくり・清らかな川づくり”を推進するため、里地における生態系の保全を図ることを目的として、“生きものにぎわうため池再生事業”を実施し、里地の生態系の保全を図るモデル的な取組みを推進しています。

今回、美濃加茂市加茂野町にある大原池（稲葉池下池）において、外来種駆除活動を下記のとおり実施しました。

記

１　実施日時　平成２８年１１月２７日（日）9:00～12:00

２　実施場所　美濃加茂市加茂野町稲辺字大原地内　大原池（通称：稲葉池下池）

３　参 加 者　岐阜県、美濃加茂市、地元住民等　合計６６名

４　実施結果

魚類は 3 科 6 種が確認され、そのうち外来種は、特定外来生物に指定されているオオクチバスの 1 種でした。魚類以外の生物は 9 科 9 種が確認され、そのうち外来種は、アメリカザリガニの 1 種でした。なお、本ため池外来種駆除活動で希少種は確認されませんでした。（調査結果：別紙表－１）

なお、捕獲された外来種（オオクチバス、アメリカザリガニ）については生態系の保全を図るために駆除を行いました。

また、捕獲された外来種以外の生きものについては、後日再放流をおこなうために別途用意した水槽にて保管、あるいは隣接する嵩割池（稲葉池上池）に放流を行いました。

５　実施状況（写真）

【捕獲・運搬状況】

【捕獲外来種】

別紙表-1　調査結果

No.	科	種	個体数		備考
			成	幼	
1	コイ科	コイ	92	4	
2		ゲンゴロウブナ	512		国内外来種（琵琶湖産）
3		フナ属の一種	207	1,105	幼魚はゲンゴロウブナ含む
4		タモロコ属の一種	250	40	
5	ドジョウ科	ドジョウ属の一種	1	3	
6	サンフィッシュ科	オオクチバス	57	721	特定外来生物 緊急対策外来種
7	シジミ科	シジミ属の一種	3		
8	ヌマエビ科	ヌマエビ属の一種	4		
9	テナガエビ科	スジエビ	26		
10	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	9		緊急対策外来種
11	エゾトンボ科	オオヤマトンボ		1	
12	トンボ科	シオカラトンボ		6	
13	タイコウチ科	ミズカマキリ	1		
14	ユスリカ科	ユスリカ科の一種		2	
15	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ	1		
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

※捕獲方法：タモ網、サデ網

■：外